

も い 森 林 の 話

第22話

檜山森林管理署

道場 直樹

若手職員のコーナーです。

私は檜山森林管理署乙部森林事務所勤務しており、森林と関わるこの職場だからこそできる経験をさせてもらっています。自然とのふれあいは気持ち良さを感じることもあれば、自然の中だからこそその困難を感じることもあります。

今回は職場で開催したイベント内容や、森林で業務を行ううえで気を付けていることについて触れたいと思います。

【グリーンスクール】

檜山森林管理署では毎年、近隣の小学校が砂坂海岸林にて開催する森林環境教育「グリーンスクール」をサポートしており、小学生に森林の楽しさや魅力を伝えていきます。

今年9月8日に開催され、私は低学年と「色いろ探検隊」という、指定した色のものを自然の中から集めてくるゲームを担当しました。これは自然観察力を高め、森林に興味を持ってもらうことを目的としています。

子どもたちは想定よりも

多くの自然物を見つけていて、細かい観察力に驚きました。始める前は子どもたちが自然に対し、どのくらい真剣になってくれるか不安でしたが、みんなの反応が良かったため安心しました。



環境教育の様子

むしろ定められた時間間に合うようにするのが大変で、自然物を多く探したい気持ちを尊重しながらもゴールまで誘導するのが難しいところでした。普段から森林で業務しているとはいえ、私はこのゲームの準備を進める前は森林にどのような色があるかを探して歩くことはなかったため、下見を重ね当日一緒に参加することで私自身も自然の

魅力を改めて感じる事が出来ました。

また、子どもたちは元気があり活発でしたが、蚊に刺された子や蛾を嫌がる子、歩き疲れた子もいました。そのような体験ももらったうえで森林に魅力を感じ、森林を意識するきっかけになってくれれば一職員としてとても嬉しく思います。



集めた自然物を確認

【森林内での車の運転】

業務では基本的に車を運転して森林に向かいます。赴任してきた当初は助手席に座り注意点を把握することに徹していましたが、いざ自分で運転するようになると想像よりも神経を使う

ことがわかりました。目的地に到着するまでの林道では場所によって状況が様々であるため、どのように車両を動かせばよいか困惑することもあり、その際は上司に動かし方を見せてもらいました。

現在は当初よりも冷静な運転が出来るようになりましたが、それでもヒヤリとすることは多いです。例えば雨風の影響で思わぬ所に落石があったり、ぬかるみによりハンドルを取られてしまうこともあります。自身の油断が危険に繋がるため、常に気を張るよう心がけています。

また林道ではシカやキツネなどの動物が飛び出してくることもあり、何度も通っている道で慣れていても危険を感じることは多いです。これは広い道でも下り坂でも同じでスピードを抑えることで対処しています。近年では森林でのレジャーがメディアで取り上げられることも多くなりましたが、皆さんも気を付けて森林や自然を楽しんで頂きたいです。